

各関係機関の長 殿

山形大学大学院医学系研究科長
上野 義之
(公印省略)

臨床看護学分野担当教員候補者の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本研究科看護学専攻では、臨床看護学分野における小児看護学領域および母性看護学領域を統括担当する教授を公募することになりました。なお、母性看護学領域では、助産師育成のための助産師コースを担当します。

今後の医療・看護学のカリキュラムを創造的に改革し、専門領域について看護実践・教育に積極的に参加し提言できる意欲ある人材を求めています。

つきましては、御多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴職関係者に御周知いただくとともに、適任者がおられましたら御推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹言

記

- 1 職種及び人員 教授 1人【女性限定】
- 2 所属 看護学専攻 臨床看護学分野（小児・母性看護学領域）
- 3 採用予定年月日 令和5年4月1日
- 4 担当授業科目 小児看護学または母性看護学を担当する
I 学部担当科目：
(1)小児看護学領域：小児看護学概論、小児看護方法、小児看護学実習、統合実習、看護研究
(2)母性看護学領域：母性看護学概論、母性看護方法、母性看護学実習、統合実習、基礎助産学、助産診断学I・II、助産技術学I・II、助産管理、助産学実習、看護研究
II 大学院担当科目：
(1)小児看護学領域：母子看護学特論II、母子看護学演習II～V、小児専門看護学実習I～II、高度実践看護師教育課程に係る科目、高齢社会看護学分野(博士後期課程)特論・演習・フィールド実習・特別研究
(2)母性看護学領域：母子看護学特論I、母子看護学演習I、母子看護学特別研究、高度実践看護師教育課程に係る科目、高齢社会看護学分野(博士後期課程)特論・演習・フィールド実習・特別研究
- 5 応募資格
(1)小児看護学領域を専門領域とする者は看護師、母性看護学領域を専門領域とする者は看護師・助産師の免許を有すること
(2)博士の学位を有する者、又はそれと同等の業績を有すると認められる者
(3)学部における担当授業科目の教育・研究を担当できる者
(4)大学院における担当授業科目の教育・研究を担当できる者
(5)高度実践看護師の教育を担当できる者
(6)女性であること

※本選考は「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則って男女共同参画を推進するため、女性教員を採用します。

山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所、医学部保育所・病児保育室など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充実しています。

また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度、学会参加時の保育支援制度はじめ、女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

6 待遇等

採用時にテニユア審査が行われ、可とされた場合は、採用時から直ちにテニユア取得となります。

採用時審査で不可となった場合は、テニユアトラックとして任期は5年間となり、3年目もしくは5年目に学内規程に基づくテニユア審査が行われ、可とされた場合にはテニユアが付与されます。

※本学のテニユアトラック制度については、下記をご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>

<http://sprb.legal-square.com/HAS-Shohin/jsp/SVDocumentView>

(1) 給与

国立大学法人山形大学年俸制(Ⅱ)適用職員給与規程による年俸制。
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

(2) 保険

文部科学省共催組合(健康保険・厚生年金)、雇用保険、労災保険

7 試用期間 6か月

8 提出書類

(1) 推薦書(様式適宜)	1部
(2) 履歴書(別紙様式1)	1部
(3) 業績一覧(別紙様式2)	1部
(4) 研究費受領状況一覧(別紙様式3)	1部
(5) 主要論文別刷	10編以内
(6) 教育、研究についての将来展望・方針	1部

(様式自由、A4判縦、1,000字以内)

なお、(3)、(4)、(5)、(6)については、紙媒体及び電子ファイルを各1部提出お願いします。

9 公募締切日 令和5年1月6日(金)17時必着

10 面接及びプレゼンテーション 日時はおってお知らせします。

11 書類提出先 〒990-9585 山形市飯田西2丁目2-2
山形大学大学院医学系研究科長宛
(封書には「臨床看護学担当教員公募書類在中」と朱書のこと。)

12 問い合わせ先 山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事・労務担当(人事)
TEL 023-628-5005
E-mail yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(様式1)

履 歴 書

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
 氏 名: 〇 〇 〇 〇 昭 和 3 2 年 (1 9 5 7) 〇 月 〇 〇 日 生 (〇〇歳) 男
 (旧姓名: 〇 〇 〇 〇)

所属・職種: 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授
 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇
 電 話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) F A X : 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
 メール: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇-u.ac.jp

現 住 所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍: 〇〇〇県
 電話: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴: 昭和57年(1982) 〇月 〇〇大学医学部医学科卒業
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 同 上 修了

免 許 等: 昭和57年(1982) 〇月〇〇日 医師免許(第〇〇〇〇〇〇〇号)
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 厚生省〇〇〇〇〇〇資格認定医(第〇〇〇〇〇号)
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 日本〇〇学会認定〇〇医(第〇〇〇〇〇号)
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 日本〇〇〇〇学会認定指導医(第〇〇〇〇〇号)
 学 位: 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 医学博士(〇〇大学), または博士(医学)(〇〇大学)

職 歴: 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 国立〇〇病院医員(研修医)(外科)
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部助手(〇〇学第二講座)
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇県立〇〇病院(〇〇部)
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 同上 辞職
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇〇月 〇日 米国〇〇〇〇〇〇〇〇大学研究員(〇〇学)
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 帰国
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部附属病院助教(〇〇部)
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部講師(〇〇学第二講座)
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部准教授(〇〇学第二講座)
 現在に至る

所属学会等: 日本〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)
 日本〇〇〇学会
 日本〇〇〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)

賞 罰: なし

(様式2)

業績目録 (枚のうち 枚目)

氏名:

[原著] ・ [症例報告] ・ [総説] ・ [国際学会の Proceeding]

- ① Yamagata T, Beniya H, Sagae M : Frequent hypermethylation of the hMLH1 gene promoter in endometrioid adenocarcinomas of the uterine cervix. Int J Cancer 65 : 459-463, 1998.
(oooooooooooooooooooooooooooo, ooooooooooooooooooooooooooooo, ooooooooooooooooooooooooooooo
oo.)
- 2 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M : Invasive ductal carcinoma associated with tubular adenoma of the breast. Virchows Arch 429 : 239-243, 1998.
- 3 Yamagata T : Prognostic markers for invasive breast cancer. Pathol Int 50 : 186-195, 2000.
- 4 上山洋一, 米沢恵美子, 山形太郎 : 肉腫様変化を伴う原発性肺癌の細胞学的検討. 日臨細胞誌 38 : 226-230, 1998.
- 5 大石田 進, 新庄一郎, 紅屋花子, 山形太郎, 寒河江光政 : 卵巣原発 PNET の 2 例. 病理と臨床 16 : 407-412, 1998.
- 6 山形太郎, 紅屋花子, 寒河江光政 : 胎児性癌細胞と胚性幹細胞. 実験医学 20 : 338-344, 2001.

[著書]

- 1 Sagae M, Yamagata T : Infertility due to endocrine disorders. In Pathologic Basis of Infertility (Holmes MC, Kaufman G, eds) pp.145-182, Academic Press, New York, 2000.
- 2 山形太郎 : ホルモンレセプターの異常. 不妊症の診断と治療 (天童三郎編) pp.173-186, 国際医書出版, 東京, 1999.

[学会発表]

- 1 Yamagata T, Higashine O, Sagae M : The presence of APC gene hypermethylation is a specific marker for esophageal adenocarcinoma. 90th Annual Meeting of the American Association of Cancer Research, Chicago, April 1999.
- 2 山形太郎, 寒河江光政 : 癌抑制遺伝子 APC の機能. シンポジウム「がん遺伝子/がん抑制遺伝子研究の進歩」第 60 回日本癌学会総会, 横浜, 2001 年 9 月

記入要領 (様式2)

- 1 原著, 症例報告, 総説, 国際学会の Proceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。
なお, 印刷中 (In Press) の論文については受理証明書を添付してください。
- 2 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代順に記載してください。
- 3 具体的記載について
 - (1) 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会の Proceeding については, 原則として記載例にならってください。なお, 次の点にも御注意ください。
 - ・ 雑誌の略誌名は, Index Medicus 及び医学中央雑誌に掲載されているものに準じる。
 - ・ 全著者名を記入し, 本人名には下線を付する。
 - ・ 主要論文 (20 編以内) に○印を付ける。また, 主要論文には日本語で数行以内の概要を記入してください。
 - (2) 学会発表については, 全国規模の国内学会での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限ります。

記載例

公募による研究費受領状況

(過去10年間)

氏 名:

年 度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名
2020	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (代)	△△△△に関する研究
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究
2017	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2017年度~2019年度) (分)	□□□□に関する研究
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2015年度~2017年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究